

(別紙4(2))

事業所名 愛の家グループホーム菊川

目標達成計画

作成日: 令和元年 11月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	○居心地の良い共用空間づくり ・ホーム内の臭い。 ・床の清掃について(べたつき感)検討が必要。	・必要に応じて毎日換気を行う。(感染症予防、排泄の失敗など) ・清掃の時間と担当を決めて、掃除の漏れがないようにする。	・各居室やリビングに換気扇はついていないため、掃き出しの窓や廊下に通じる洗面所の窓を開け、毎朝換気を行う。便失禁については、トイレや洗い場の換気扇を使用することと、扉を閉めて行う。 ・食堂、リビングについては、夜勤者が行う。食後は、食べこぼしについて確認し掃除を行う。	3ヶ月
2	35	○災害対策 ・習熟しているかについて、スタッフの自己評価や他者評価について検討が必要。	・災害が起こったときには、スタッフ全員が対応ができ、入居者様の安全が確保できる。	・夜勤者などの関係もあり、全員参加は難しい為、書面にて動きの部分について記載し、参加できないスタッフについても疑似体験できるように工夫する。(チェックリストの作成)	3ヶ月
3	6	○身体拘束をしないケアの実践 ・身体拘束の研修実績などが1冊のファイルになっておらず、見やすい状況になっていない。 (行政監査の時は必ずチェックが入る項目)	・行政監査にて指摘されないようにする。	・ファイルの見直しを行い、1冊のファイルとする。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。